

## 4 景観形成基準

景観形成基準は、良好な景観の形成のために、建築行為などを行う際に守っていただく事項として定めるものです。

本市では、届出の対象行為ごとに必ず守っていただく事項として「景観形成基準」を定めるとともに、自主的な配慮をお願いする事項として「景観配慮事項」を定めます。

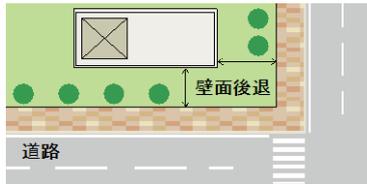
### ①景観形成基準

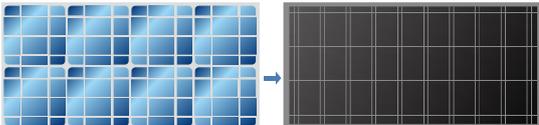
届出対象行為ごとに、遵守していただく事項です。基準に適合していない場合、市が行方者に対して勧告、変更命令を行うことがあります。

なお、変更命令の対象となる色彩の基準は、市内の建物の現況調査結果、周辺市町の基準、富士箱根伊豆国立公園管理計画書（伊豆半島地域）の基準を踏まえ、マンセル値<sup>※</sup>を用いて数値基準を設定します。

※マンセル値とは、日本工業規格（JIS Z8721 色の表示方法—三属性による表示）にも採用されている国際的な尺度である「マンセル表色系」の3つの属性（色相、明度、彩度）を組み合わせて表記する記号

#### ア 建築物、工作物の新築（新設）、増築、改築、移転、外観の変更

項目	基準
配置	<input type="checkbox"/> 【自然公園ゾーン】山稜の近傍では、稜線を乱さないよう尾根から低い位置に配置する。
壁面の位置	<input type="checkbox"/> 壁面は、道路からできる限り後退し、歩道状の空間、植栽のための空間の確保などにより、ゆとりや潤いのある空間の創出に配慮する。 <div style="text-align: center;">  <p>壁面を道路から後退させる</p> </div>
高さ	<input type="checkbox"/> 周辺の街並みや自然景観と調和した高さとするよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 富士山などの良好な眺望を阻害しない高さとするよう配慮する。
形態	<input type="checkbox"/> 周辺の街並みや自然景観と調和した形態とし、違和感を与えないよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 【自然公園ゾーン・森林ゾーン・田園集落ゾーン・海岸ゾーン】屋根は、切妻、寄棟、入母屋、方形など、勾配のある形態とするよう配慮する。

材料	<input type="checkbox"/> 光沢のある材料や反射光の生じる素材を大部分にわたって使用しない。 <input type="checkbox"/> 木材や石材などの自然素材の活用などにより、周辺の景観との調和に配慮する。
屋外設備	<input type="checkbox"/> 外壁または屋外に設ける設備は、道路などの公共施設から見えにくいよう配置する。やむを得ず見える場所に配置する場合、外壁と調和する色調、目隠しなどにより、目立たないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 建築物、工作物の屋根、屋上などに太陽電池モジュールを設置する場合は、色彩は、黒色又は濃紺色若しくは建築物と一体に見える低明度かつ低彩度の目立たない物を使用し、低反射で、できるだけ模様が目立たない物を使用するよう配慮する。
擁壁等	<input type="checkbox"/> 長大な擁壁が生じないようにする。やむを得ない場合は、緑化などにより、周辺の景観と調和するよう配慮する。
駐車場、駐輪場	<input type="checkbox"/> 駐車場、駐輪場の舗装面、機器類、垣柵は、形態意匠などの工夫により、周辺の景観と調和するよう配慮する。
地上に設置する太陽光発電施設	<input type="checkbox"/> 太陽電池モジュール（ソーラーパネル）の色彩は、黒色又は濃紺色若しくは低明度かつ低彩度の目立たない物を使用し、低反射で、模様が目立たない物を使用する。  <p style="text-align: center;">パネルの色彩や模様は目立たないものを使用する</p> <input type="checkbox"/> 太陽電池モジュールのフレーム、架台、パワーコンディショナー、フェンスなどの附属施設及び防草シートなどの色彩は、周囲の自然景観と調和したものとする。 <input type="checkbox"/> 平地に設置する太陽電池モジュールの最上部の高さは、周囲の景観から突出せず、周辺の良好な景観を損なわないよう、できるだけ低くする。 <input type="checkbox"/> 敷地境界からの後退、植栽による目隠しなどにより、通行者への影響や周辺の景観との不調和を軽減するよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 本計画書「第4章 景観まちづくりの方針」(p13~41)で定める、道路景観軸、河川景観軸のほか、駿河湾、観光レクリエーション施設、ホテル・旅館、ジオサイト、名勝、景観重要建造物、景観重要樹木、景観重要公共施設、景観資産、一団の住宅地（別荘地を含む。）等から視認できる斜面地や尾根線を避けて設置する。やむを得ず視認できる場所に設置する場合、高さや規模をできるだけ抑え、太陽電池モジュールの分散配置や設置角度の工夫、高木の植栽などによる遮へい、事業区域内の緑化などにより、周辺の景観への影響が軽減するよう配慮する。

色彩

- 色数は全体で5色以内とする。
- 【森林ゾーン・田園集落ゾーン・まちなかゾーン】周辺の景観と調和するよう、派手な色彩を控え、できるだけ落ち着いた色彩を使用する。

＜マンセル値による外壁や屋根の色彩基準（色彩例①参照）＞

色相	明度	彩度
0 R～10R	1 以上 9 以下	3 以下
0 YR～10Y	1 以上 9 以下	6 以下
その他の有彩色	1 以上 9 以下	2 以下
無彩色	1 以上 9 以下	

ただし、次の場合は、この限りでない。

- ア) 着色していない木材、土壁、無彩色のガラスなどの材料によって仕上げられる部分の色彩
- イ) 見付面積の10分の1未満の範囲内で、低層部にアクセント色として効果的に着色される部分の色彩
- ウ) 地域のランドマークとしての役割を果たすもの、良好な景観の形成に資するもの
- エ) 神社仏閣等、地域の歴史・文化を継承するものであり、地域に定着し住民から認知されていると認められるもの

- 【自然公園ゾーン・海岸ゾーン】外壁の色彩は、褐色系色、クリーム色、灰色系色、乳白色系とする。

＜マンセル値による外壁の色彩基準（色彩例②参照）＞

色相	明度	彩度
5 R～10R	3 以上	4 以下
0 YR～ 5 Y	3 以上	6 以下
無彩色	3 以上	

- 【自然公園ゾーン・海岸ゾーン】屋根の色彩は、ダークブラウン、灰黒系色、赤錆系色、暗緑系色とする。ただし、和瓦または銅板を用いる場合は、この限りでない。

＜マンセル値による屋根の色彩基準（色彩例③参照）＞

色相	明度	彩度
5 R～10R	4 以下	9 以下
0 Y R～ 5 Y	5 以下	6 以下
5 Y～ 5 BG	4 以下	2 以下
無彩色	5 以下	

## イ 開発行為

項目	基準
行為後の土地の形状	<input type="checkbox"/> 行為の範囲は必要最小限とし、大規模な伐採を避ける。 <input type="checkbox"/> 【自然公園ゾーン・海岸ゾーン】山稜の近傍では稜線を乱す地形改変を避ける。
法面、擁壁の外観	<input type="checkbox"/> できる限り現況の地形を活かし、大規模な法面または擁壁が生じないようにする。 <input type="checkbox"/> 法面、擁壁は、素材や表面処理の工夫、緑化などにより、周辺の景観と調和するよう配慮する。
緑化	<input type="checkbox"/> 敷地内は、周辺の植生を考慮した緑化により、周辺の景観との不調和を軽減するよう配慮する。

## ウ 土石の採取その他の土地の形質の変更、木竹の伐採

項目	基準
行為の位置、方法	<input type="checkbox"/> 行為の範囲は必要最小限とし、行為の位置は道路などの公共施設からできるだけ見えない位置とする。 <input type="checkbox"/> 周辺からできるだけ行為が見えないような方法を取り、周辺の景観と調和するよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 行為の跡地は、緑化などにより、周辺の景観と調和するよう配慮する。

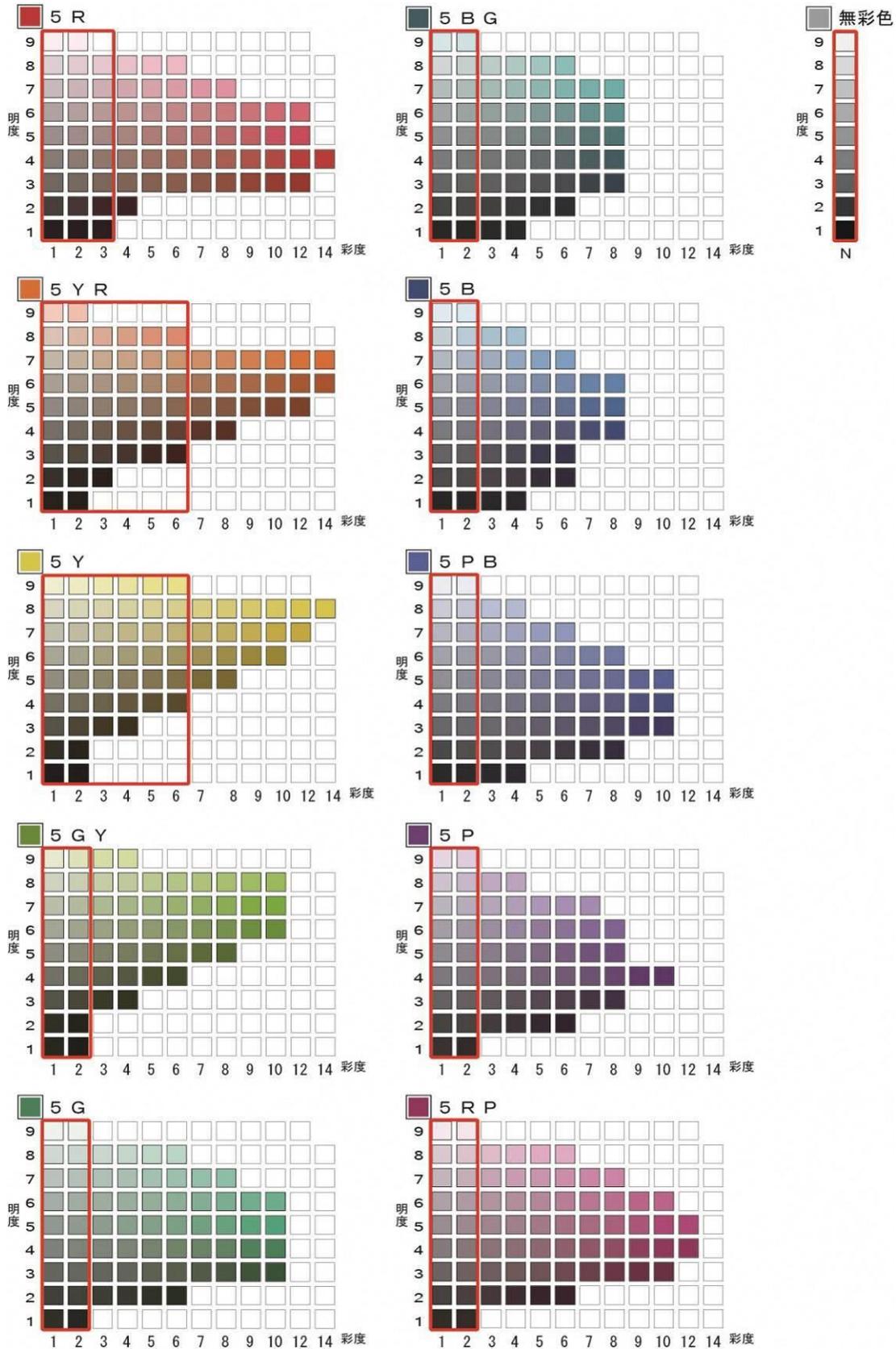
## エ 屋外における物件の堆積

項目	基準
堆積の位置、方法	<input type="checkbox"/> 堆積を始める位置は、道路などの公共施設の敷地境界からできるだけ後退させ、高さを抑え、整然と堆積する。 <input type="checkbox"/> 周辺からできるだけ行為が見えないような方法を取り、周辺の景観と調和するよう配慮する。

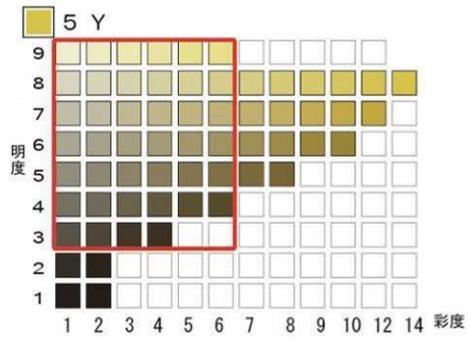
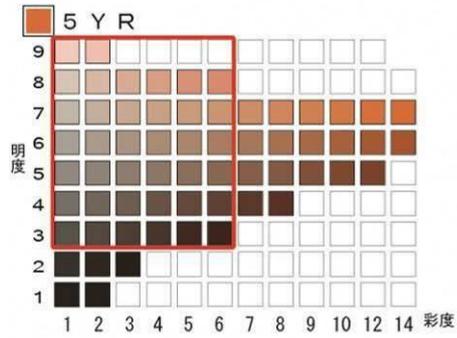
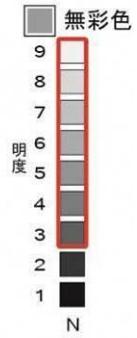
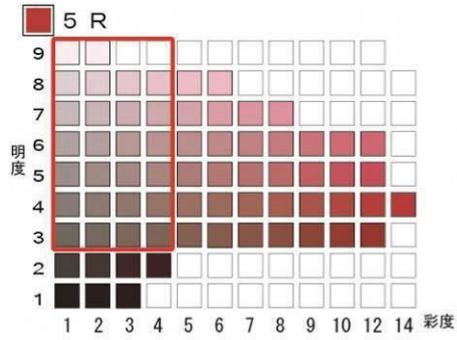
## オ 特定照明

項目	基準
位置、向き等	<input type="checkbox"/> 投光器等を使用する場合、必要最小限の範囲に抑える。 <input type="checkbox"/> 投光器等は、上空に向けて使用してはならない。または、器具の上部に傘などの遮へい物を設置し、上方に光が漏れないようにする。

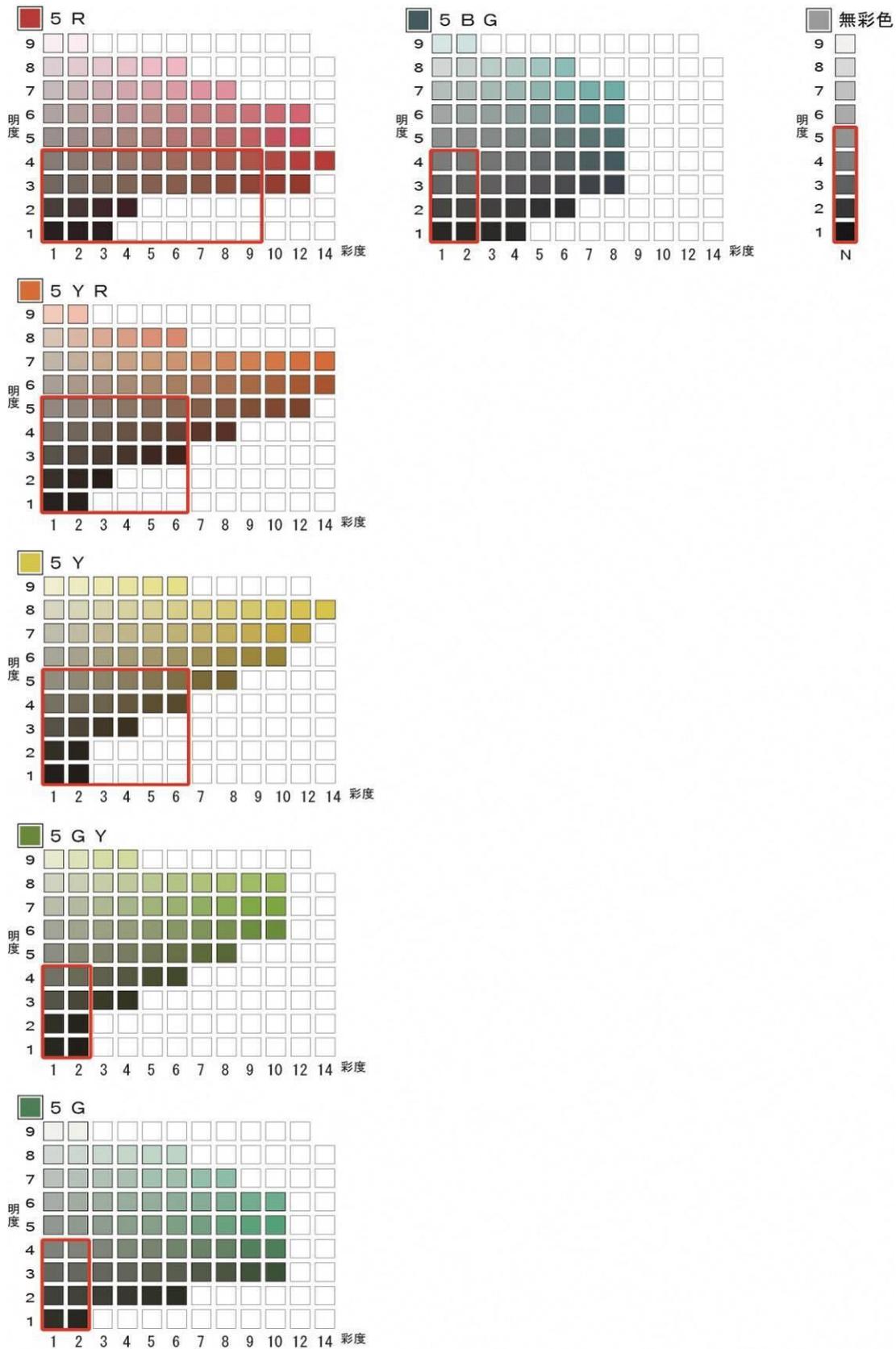
色彩例①：森林ゾーン、田園集落ゾーン、まちなかゾーンの外壁や屋根



色彩例②：自然公園ゾーン、海岸ゾーンの外壁



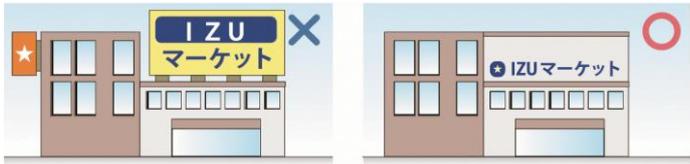
色彩例③：自然公園ゾーン、海岸ゾーンの屋根



## ②景観配慮事項

外構や屋外広告物は、景観に与える影響が大きいことから、自主的な配慮をお願いします。

### ア 建築物、工作物の新築（新設）、増築、改築、移転、外観の変更

項目	基準
垣柵等	<input type="checkbox"/> 垣柵を設ける場合、生け垣の設置、木材や石材の活用、ネットフェンス前面の植栽、自然物の材質を模したブロック積みなどが望ましい。
緑化	<input type="checkbox"/> 道路などの公共空間に面する場所の緑化に努める。
屋外広告物	<input type="checkbox"/> 建築物の壁面に自家広告物以外の屋外広告物を設置しないよう努める。 <input type="checkbox"/> 野立て看板、屋上看板、突出看板の設置を避け、できるだけ集約化、小規模化に努める。 <input type="checkbox"/> 屋外広告物の高さ、形態、色彩、意匠は、建築物、周辺の景観と調和するよう努める。  <p style="text-align: center;">建築物と調和させた屋外広告物のイメージ</p> <input type="checkbox"/> 【自然公園ゾーン・森林ゾーン・田園集落ゾーン・海岸ゾーン】屋外広告物の地は、自然素材またはダークブラウンを使用し、全体で3色以内となるよう努める。